

科目名	開講期間	必修/選択	担当者名
現場から学ぶ ー企業フィールド調査ー	後期	必修	田村 豊

【授業の目的と概要】

企業でのフィールド調査を実施し、企業調査の実際を体験的に学び、調べることの重要性を実践的に会得する。とくに経営の「現場」へと踏み込むことで、経営者、従業員の具体的姿を理解することを目指し、企業経営の「現場」の重要性を理解することを課題とする。

【授業計画】

※実践的な授業方法…①企業等、②双方向、③実務家教員・実務家、④実地

回数	テーマ 授業内容の概要	実践的な 授業方法
1	授業の概要説明 授業では、これまで行ってきたフィールド調査の事例を踏まえながら、フィールド調査の骨格を説明し、フィールド調査がなぜ必要なのか、またフィールド調査によって明らかになる事柄とはどのように役立つのか解説する。	①
2	フィールド調査の意味と方法 フィールド調査には、調査を行う意味が必要であり、方法が必要となる。授業では、フィールド調査における「調査の意味付け」とは何かを説明し、また、フィールド調査の方法を理解する。	①
3	フィールド調査企業での実習① 現地で調査を実施する。授業では愛知の中小企業である、エイベックス株式会社での調査を予定する。基本的な企業情報を調べ、その上で各部署の機能の理解、経営課題などを現地に行ってヒアリングし、実際に調査を行う。	①④
4	フィールド調査のまとめ 調査課題に沿って、企業で調査を実施する。企業の特徴、企業経営の課題、社員数、外注の状況など、現地でしか聞けない点をしっかりと抑えたインタビューと調査を実施する。	①②
5	フィールド調査企業での実習② 各自受講者の希望と前回の調査の成果を踏まえ、企業調査を行う。そのために、調査企業の選定を含め調査視角などを整理し、グループで討論なども行い、調査を実施する。	①④
6	調査結果の整理 調査結果をまとめ、調査概要を整理する。これまでの授業での知見を踏まえ、前回の調査企業との比較、特徴などを明らかにする。参加者同士の意見交換なども行い、調査成果をまとめ調査成果の発表の準備を行なう。	①②
7	授業のまとめと成果発表 調査で得た知見等を出し合い、成果を確認する。授業では、それぞれの実施した調査結果を参加者が理解できるように成果をわかりやすく示すことを検討する。	①②

【授業の到達目標】

- ・企業活動の現場から得た情報を掘り下げて問題を可視化し、図示することができる
- ・フィールド調査にとって不可欠な事前準備の項目、段取りの方法、調査項目の設定など調査のプロセスを分解して可視化することができる

【成績評価方法】

授業、調査参加中に示す積極的な姿勢、課題についての調査、準備などを勘案し、総合的に判断していく。

【テキスト・参考図書】

授業時間中に紹介するとともに、各回の授業の際にその都度、資料を配付する。